

伝染方法と発病

1. 病原菌は主に保菌種いもや汚染土壌で圃場に持ち込まれる。
2. 種いもは無病徴でも保菌していることがある。
3. 一度汚染された圃場では、ばれいしょの作付けに関係なく、非常に長期間にわたって土壌伝染する。



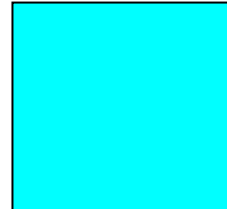
保菌種いも



形成された孢子鎖



孢子
このままでも長期間
生存可能



孢子の発芽

病原菌が細胞間
や細胞中で増殖

病原菌は皮目の
傷から侵入

病斑の周りのコルク層

そうか病菌の生活環

病原菌は主に種いも伝染と土壌伝染する。



病斑上での増殖



病斑形成

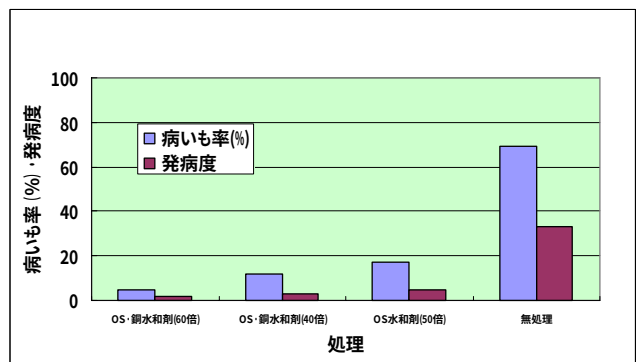
増殖した細胞
とコルク層が
罹病部を押し
出す

感染と発病

塊茎周皮が破れて
病斑を作る

種いも消毒の重要性

種いも消毒剤の効果は高い(右図)。
道内にはまだ未発生畑が多い。
さらに黒あざ病の防除も重要。



種いも消毒剤の防除効果

注) 図中、OS:オキシテラサイクリン・ストレプトマイシン水和剤。
砒数?程度の罹病種いも使用